

佐志生小 花で彩り37年



「花を通して豊かな心を育みたい」と子どもたちの成長を願う亀井恵美子さん

【白杵】白杵市佐志生で生け花を指導する亀井恵美子さんは66歳。佐志生小（永松芳恵校長、18人）に花を飾る活動が続いている。長女が通学していた1985年から始め、37年。校内は一年を通して美しい花々で彩られる。亀井さんは「花に親しみ、命の大切さや人を思いやる心を育んでほしい」と子どもたちの成長を願っている。

20代後半から生け花を習い、飾るように。毎週月曜に自宅の庭や畑で育てた花を持って通い、1時間ほどか

白杵で生け花指導 亀井恵美子さん



校内を彩る亀井さんが生けた花。白杵市佐志生小

「思いやりの心を育て」

職員玄関や階段の踊り場など計10カ所に生ける。花が少ない時期には地域住民から分けてもらったリサイクル紙を使用したりと工夫しながら、季節感のある作品にしている。一緒に活動する仲間も存在も大きく、「長年、続けてこれたのは協力してくれる人たちや地域の支えがあったから」とい

6年の首藤友里さん(1)と顔写真右と田原麻華さん(1)は「学校を明るく彩ってくれてうれしい。毎週異なる花があり、気がなつた種類は家に帰って調べるようになった。永松校長は「情操教育に役立つ」と感謝する。



(衣笠田布妃)

大分合同新聞 2022年8月2日（火）朝刊 14面

